令和7年度
古河薬剤師会通常総会

第1号議案　令和6年度事業報告について

第2号議案　令和6年度収支決算について

第3号議案　令和7年度事業計画について

第4号議案　令和7年度収支予算について

令和7年5月29日（木）19：00～
会場　そば善

第１号議案　　令和6年度事業報告

【会員状況】　　（令和7年5月16日現在）

会員数	97 名
年間入会者数	11 名
年間退会者数	12 名
物故会員者数	0 名

（年間入会者・退会者数は令和6年5月30日～令和7年5月15日迄）

【表彰】　宇田　和夫　（公衆衛生功労者　茨城県古河保健所）

【委員会活動】　古河薬剤師会関連

研修委員会

＜研修運営＞

担当者　高橋真吾（薬局ファミーユ）、加藤大貴（あおぞら薬局）、岡田英之（スミレ薬局）、大野浩（アイン薬局古河諸川店）、緒方直美（クラフト株式会社）、後藤沙矢香（アイン薬局古河駅西店）

令和6年度はリアル集合研修４回とZoomによるオンライン研修４回の計８回開催。内容は薬局の加算に関係する内容や地域医師を講師に招いての研修など地域としての研修の意義がある内容で開催。BCP関連のリアル研修会は参加者が伸びず、課題が残った。活動内容を別紙の通り報告する。

＜学術大会への参加＞

発表者　岡田英之（スミレ薬局）

第57回日本薬剤師会学術大会において、「古河アンチ・ドーピング委員会による地域活動」の発表を行った。

発表者　樅山徳之（オレンジ薬局諸川店）

第57回日本薬剤師会学術大会において、「地域における特定健診受診率向上を図るための取り組みと意識調査からみえた課題（第一報）」の発表を行った。

発表者　古谷百恵（ウエルシア薬局古河鴻巣店）

第35回茨城県薬剤師会学術大会において、「地域における特定健診受診率向上を図るための取り組みと意識調査からみえた課題（第一報）」の発表を行った。

地域連携事業委員会

地域共生社会や地域包括ケアシステムの構築に向けて、薬局や薬剤師に求められるものは多岐にわたっており、また、地域の課題に対して単独の薬局または限られた薬剤師で解決することは容易ではない。

地域課題にフォーカスし、他の職種や団体と連携しながら地域の薬局全体で行動していくという観点が求められている。

その視点に立って、前年度に引き続き、関連事業を進めた。

＜古河モデル事業＞

担当者　宇田和夫（社会福祉法人下総プリンスクラブ）

新服薬管理気づきシートを活用した連携事業を開始する。

６月１３日（木）に合同研修会を開催し、その後、ケアマネ会で７月、８月を強化月間として新気づきシートを活用したスクリーニングを実施。

実施後アンケートを行い３３名のケアマネから回答あり。新気づきシートの使用感などについて確認。今後、ケアマネによる年１回のスクリーニングの定例化を検討。

令和４年度に続き、茨城県の事業としてケアマネと薬剤師の連携事業が、稲敷市、牛久市、大子町、かすみがうら市で行われ、古河モデルの事業について紹介した。

古河モデルの論文化を藤田健二先生（シドニー大学）・山下美妃先生（北海道科学大学教授）の指導のもと進めるも執筆完了まで至らず。

＜入退院時連携事業＞

担当者　田村美帆（共創未来総和薬局）

古河赤十字病院との定期的なミーティングを行なった。また、西南医療センターとの情報交換を行ない、入退院時のスキームを検討した。

友愛記念病院とも、入退院時連携事業の再開を目指した。

定期的な意見交換ができるように交流を図った。

＜オレンジカフェ推進事業＞

担当者　後藤沙矢香（アイン薬局古河駅西店）

認知症の早期発見・早期治療につなげるための活動は、自治体ごとに認知症初期集中支援チームが立ち上がり活動している。しかし、その活動は必要する人に結びついていない。地域では高齢化が進み認知症に対する不安を抱えた当事者やその家族が暮らしている。そのような方の声に耳を傾ける場所が地域で求められており、薬局はそのような不安を受け止める場所として適当であり、地域包括支援センター、認知症家族の会、介護支援専門員協会古河地区会と連携しながら今年度はオレンジカフェ（認知症カフェ）の開催ができる店舗を増やしていく。

＜アンチドーピング担当事業＞

担当者　岡田英之（スミレ薬局）

7月に古河シティFCに対してアンチ・ドーピング講習会を実施。選手、指導者に対して講義を行った。日本薬剤師会学術大会において古河薬剤師会で実施してきた活動内容についてポスター発表を行った。11月のスポーツフェスタ2024にてブースを設置しアンチ・ドーピングについての啓発活動を行った。その際に使用したアンケートは古河日赤の倫理審査を通し、そのデータを使用しコミュニケーション学会の学会誌へ論文投稿をした（令和7年3月現在で査読中）。また、論文の内容は令和7年の日本薬剤師会学術大会にてポスター発表する予定。

＜特定健診受診推進事業＞

担当者　樅山徳幸（オレンジ薬局諸川店）

昨年度に引き続き茨城県の事業（かかりつけ医及び地域の薬局と連携した保健事業）として特定健診受診勧奨事業を行った。今年度は古河市だけでなく五霞町も対象となった。この活動がかかりつけ薬剤師の地域活動に該当することも周知し、事業に参加した薬局は34薬局（対象55薬局中）であった。受診勧奨件数は152件。そのうち受診に繋がったのは38件であった。
9月に日本薬剤師会学術大会でポスター発表（harmoと共同研究）を行った。同内容で12月に茨城県薬剤師会学術大会でポスター発表を行った。

＜他団体との交流事業＞

担当者　宇田和夫（社会福祉法人下総プリンスクラブ）

地域共生社会、地域包括ケアシステム構築に貢献を目的に、三師会活動をはじめとして行政や他団体との連携強化をはかる。

＜夜間休日輪番体制整事業＞

担当者　加藤大貴（あおぞら薬局）　後藤沙矢香（アイン薬局古河駅西店）　岡田英之（スミレ薬局）　森安大（なのはな薬局）　緒方直美（クラフト株式会社）　高橋真吾（薬局ファミーユ）　宇田和夫（社会福祉法人下総プリンスクラブ）

地域の休日夜間における医療資源提供体制を構築するための活動を行った。

法人格検討委員会

担当者　田村美帆（会長）

行政や企業などとの連携を考えれば法人格の取得は有用であることも考慮し、引き続き古河薬剤師会の法人化を検討する。

災害対策委員会

担当者　五十畑孝治（イソハタ薬局本町店）、高橋昇吾（薬局ファミーユ）、山野光一（かりん薬局）

BCP作成対策委員会を立ち上げ、10名のメンバーで活動した。
主な活動は地域BCPを作成するためのミーティングや水八寿裕先生を講師に迎えた研修会を開催した。

境町との災害時協定の締結を行った。

災害時の情報共有ツールとして使用を想定した「古河薬剤師会公式オープンチャット」を開設した。

【担当委員活動】

会員連絡担当委員

担当者　金沢知志（アイン薬局古河本町店）

会員への研修会のお知らせ、その他薬剤師回の会員へのお知らせが主な業務。

ホームページ担当委員

担当者　森安大（なのはな薬局）・小泉和之（あおぞら薬局）

お知らせ事項、研修会情報等、随時更新中。
また、ホームページの管理アプリケーションの随時アップデートを実施。
薬剤師会役員・委員会、会員薬局リストを最新版に更新。
地域支援体制加算・連携強化加算の算定要件にある地域輪番の構築・在宅協力・災害時対応薬局リストの作成と次年度更新。
医薬品小分け融通連携（各薬局の在庫薬リスト等）はシステムを検討するも凍結中。
研修委員への研修会情報登録は引き続き模索中。

長期連休開局状況確認と情報共有委員

担当者　高橋真吾（薬局ファミーユ）

Googlefoamを活用しアンケート調査にてゴールデンウイークと年末年始の開局状況を各薬局に確認。薬剤師会で把握し、会員間の情報共有を行う。

古河薬剤師会ホームページを活用し、基幹病院門前薬局での輪番体制掲載しているため、その更新も継続していく。

県薬剤師会関連

防災担当委員

担当者　五十畑孝治（イソハタ薬局本町店）

災害に備えた防災対応を、災害対策委員会において検討する。

ベストライフ事業担当委員

担当者　後藤沙矢香（アイン薬局古河駅西店）

茨城県薬剤師会と連携して随時対応し担当を振り分けする。

「薬と健康の週間」事業担当委員

担当者　初澤博文（ハロー薬局）

「薬と健康の週間」は今年度も１０月の関東ド・まんなか祭りと共に開催する予定である。地域活動としては、市民の方々にお薬手帳や在宅などのアンケートをお願いすることで薬剤師業務を広報し、更に薬剤師会の啓蒙活動を行う予定です。

医療保険委員会担当委員

担当者　加藤大貴（あおぞら薬局）

今年度は５月９日に１回、新規個別指導に立ち合い予定。

前年度同様、保険薬局の個別指導の立ち合い及び、他の地域の医療保健委員の先生方が立ち合いを行った報告書を元に、研修会の場を活用し、調剤報酬に関する情報の発信を行う。

実務実習生受け入れ担当委員

担当者　樅山徳幸（オレンジ薬局諸川店）

令和６年度の実習生の受け入れは４名。受け入れ薬局はアイランド薬局境町店（Ⅰ期1名、Ⅱ期1名）、オレンジ薬局諸川店（Ⅱ期1名）、ローズ薬局（Ⅱ期1名）。

県西在宅クリニックによる往診同行実習を開始した。実習生の感想は好評であった。

協力薬局として、引き続きあおぞら薬局に在宅実習を行っていただいた。

実習の成果報告会は引き続き、筑西薬剤師会・常総薬剤師会・古河地区の病院（古河赤十字病院、友愛記念病院、古河総合病院、西南医療センター病院）と合同で開催した。

認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップへタスクフォースとして参加した。（11月23日、24日）

学校薬剤師部会

部会長　落合佑介（落合薬局）

古河市担当委員

落合佑介（落合薬局）

猿島郡担当委員

森安大（なのはな薬局）

学校薬剤師の推薦を行う。

幼稚園、保育園、認定子供園の要望により薬剤師の紹介も行うが、基本的には学校薬剤師の研修を修了した会員を紹介する。報酬についてもある程度薬剤師会で交渉する。

令和6年度　収支決算

令和6年4月1日～令和7年3月31日

（単位：円）

収入の部

科　目	予算額	決算額	摘　要
前年度繰越金	3,259,280	3,259,280	
会費等収入	1,156,400	~~1,218,000~~	1210,300
薬剤師会会費 A	1,005,000	1,001,000	A会員(13000円)×[illegible]人　B会員(3000)×41人　A会員(10000円)×2人
活動交付金 B	151,400	119,300 ~~127,000~~	地域・職域薬剤師会助成金(基本額50,000円＋会員数99名×700円)
その他収入 C	0	90,000	ホームページ掲載料(3件)
事業収入Ⅰ　研修事業関係	40,000	18,655	
研修会等参加費 D	40,000	18,655	
懇親会費収入 E	0	0	
その他収入 F	0	0	
事業収入Ⅱ　地域連携事業関係	30,000	0	
研修会等参加費 G	30,000	0	
懇親会費収入 H	0	0	
その他収入 I	0	0	
事業収入Ⅲ　その他事業	70,000	~~96,300~~	104,000
交付金 J	70,000	60,000	薬と健康の週間事業(ド・マンナカ祭り、第3回ふくしまつり)：60,000円
その他収入 K	0	44,000 ~~36,300~~	薬剤師資格証：~~36,300~~円 44,000
その他の収入	22	1,179	
利息 L	22	1,179	
寄付 M	0	0	
収入合計	4,555,702	4,593,414	

支出の部

科　目	予算額	決算額	摘　要
事業支出Ⅰ　研修事業関係	340,000	181,867	
委員会活動費	20,000	0	
会議時等運営費 ①	10,000	0	
交通費等 ②	10,000	0	
研修会運営費	240,000	160,358	
準備費 ③	10,000	37,096	備品、印刷、資料代等
講師等謝礼 ④	100,000	103,462	研修会3回
運営費 ⑤	100,000	19,800	薬剤師研修・認定電子システム(6件)
交通費等 ⑥	30,000	0	
懇親会費 ⑦	50,000	21,509	懇親会1回
その他 ⑧	30,000	0	
事業支出Ⅱ　地域連携事業関係	1,150,000	17,775	古河モデル事業　入退院時連携事業　新型コロナウイルス対応活動 オレンジカフェ推進事業　特定検診受診推進事業　他団体との交流事業
事業活動費	160,000	0	
会議時等運営費 ⑨	140,000	0	
交通費等 ⑩	20,000	0	
研修会等運営費	260,000	17,775	
準備費 ⑪	30,000	7,105	備品、印刷、資料代等
講師等謝礼 ⑫	150,000	0	
運営費 ⑬	50,000	10,670	薬剤師研修・認定電子システム(2件)、会場費(3件)
交通費等 ⑭	30,000	0	
懇親会費 ⑮	100,000	0	
その他 ㊳	630,000	0	
事業支出Ⅲ　その他事業	215,000	262,917	
薬と健康の週間事業費 ⑯	60,000	59,410	ド・マンナカ祭り　第3回ふくしまつり等
実務実習受入委員会活動費 ⑰	80,000	59,000	実務実習歓迎会・慰労会3回
代議員活動費 ⑲	0	0	
医療保健委員活動費 ⑳	0	0	
防災活動費 ㉑	20,000	2,000	
夜間休日用携帯電話料金 ㉒	50,000	21,201	
広報活動費	5,000	0	
アンチドーピング活動費	0	121,306	
運営業務等支出	2,850,702	829,772	
役員活動費 ㉔	300,000	292,300	会長1名・副会長2名・会計1名・理事7名・監事2名　計14名、地域会議参加費など
会員活動費 ㉕	30,000	0	
総会時費用 ㉖	250,000	215,920	総会・案内ハガキ
福利厚生費 ㉗	10,000	0	
会議費 ㉘	120,000	77,690	三役会、監査会議
ホームページ管理費	30,000	19,800	
事務用品費 ㉙	10,000	27,412	封筒・ファイル等
通信費 ㉚	60,000	134,221	郵送代、一斉メール、夜間転送電話
慶弔費 ㉛	20,000	0	
出張手当（旅費・宿泊費等） ㉜	100,000	0	
学術大会参加費用 ㉝	60,000	45,937	学術大会発表者(2名)　日本薬剤師会学術大会
印刷費 ㉞	5,000	9,020	
交際費 ㉟	100,000	0	
支払手数料 ㊱	10,000	1,980	振込手数料　銀行手数料
地域活動費 ㊴	0	0	
活動予備費 ㊲	1,745,702	5,492	
支出合計	4,555,702	1,292,331	

事業活動収支差額

科　目	予算額	決算額	摘　要
収入合計	4,555,702	4,593,414	
支出合計	4,555,702	1,292,331	
収支差額	0	3,301,083	

以上の通り報告いたします。　令和~~6~~7年5月10日

会長　田村　美帆

会計　加藤　大貴

＜監査報告＞

古河薬剤師会　令和6年度収支決算について監査した結果、
会務及び財務に関する事務の執行は、適正に処理されたことを認めます。

令和7年5月10日　　監事　山野　光一

　　　　　　　　　　　　　夘木　優香

第３号議案　　令和7年度事業計画 ~~(案)~~

古河薬剤師会関連

【委員会活動】

研修委員会

＜研修運営＞

担当者　高橋真吾（薬局ファミーユ）、加藤大貴（あおぞら薬局）、大野浩（アイン薬局古河諸川店）、緒方直美（クラフト株式会社）、後藤沙矢香（アイン薬局古河駅西店）、岡田英之（スミレ薬局）

令和７年度も薬局加算に関する研修会や地域連携関連、BCP関連の研修会を開催する。

＜学術大会への参加＞

発表者　岡田　英之

日本薬剤師会学術大会

地域連携事業委員会

＜古河モデル事業＞

担当者　宇田和夫（社会福祉法人下総プリンスクラブ）

地域共生社会や地域包括ケアシステムの構築に向けて、薬局や薬剤師に求められるものは多岐にわたっており、また、地域の課題に対して単独の薬局または限られた薬剤師で解決することは容易ではない。

地域課題にフォーカスし、他の職種や団体と連携しながら地域の薬局全体で行動していくという観点が求められている。

その視点に立って、前年度に引き続き、関連事業を進めていく。

ケアマネ会との合同研修会と新気づきシートを活用した連携事業を昨年に続き実施し、ケアマネとの連携によって地域の在宅療養者の服薬管理の質を向上させる。

古河モデルの論文化を完了させる。

＜入退院時連携事業＞

担当者　田村美帆（共創未来総和薬局）

古河赤十字病院との定期的なミーティングを行なっていく。西南医療センター、友愛記念病院との情報交換を行なえるよう、連携をとりつつ、入退院時のスキームを検討できるようにしていく。

＜オレンジカフェ推進事業＞

担当者　後藤沙矢香（アイン薬局古河駅西店）

薬局は認知症の早期発見・早期治療につなげるための活動として、認知症本人やその家族の不安を受け止める場所として適当な機関である。地域包括支援センター、認知症家族の会、介護支援専門員協会古河地区会と連携しながらオレンジカフェ（認知症カフェ）の開催ができる店舗を増やしていく。

＜アンチドーピング担当事業＞

担当者　岡田英之（スミレ薬局）

スポーツフェスタ古河2024で得られたデータを論文化し投稿済み。その内容は日本薬剤師会学術大会にてポスター発表する方針。古河シティＦＣでのアンチ・ドーピング講習会は今年度も実施する予定。スポーツフェスタ古河でのブース設置およびアンチ・ドーピング啓発活動も継続していく方針にしている。

＜特定健診受診推進事業＞

担当者　樅山徳幸（オレンジ薬局諸川店）

一昨年、昨年度は茨城県の事業として特定健診未受診者への受診勧奨を行ったが、今年度は未定。引き続き県の事業、もしくは市の事業として行う場合はかかりつけ薬剤師の地域活動になることを周知し、各薬局へ参加を促す。

＜他団体との交流事業＞

担当者　宇田和夫（社会福祉法人下総プリンスクラブ）

地域共生社会、地域包括ケアシステム構築に貢献を目的に、三師会活動をはじめとして行政や他団体との連携強化をはかる。

＜夜間休日輪番体制整事業＞

担当者　加藤大貢（あおぞら薬局）　後藤沙矢香（アイン薬局古河駅西店）　岡田英之（スミレ薬局）　森安大（なのはな薬局）　緒方直美（クラフト株式会社）　高橋真吾（薬局ファミーユ）　宇田和夫（社会福祉法人下総プリンスクラブ）

Googlefoamを活用しアンケート調査にてゴールデンウイークと年末年始の開局状況を各薬局に確認。薬剤師会で把握し、会員間の情報共有を行う。

情報はLineチャットクループで共有していく。

法人格検討委員会

担当者　会長

行政や企業などとの連携を考えれば法人格の取得は有用であることも考慮し、引き続き古河薬剤師会の法人化を検討する。

災害対策委員会

担当者　五十畑孝治（イソハタ薬局本町店）、高橋真吾（薬局ファミーユ）、山野光一（かりん薬局）

昨年度から引き続き地域BCP作成に向けたミーティングの開催や研修会を開催する。また、五霞町との災害時協定に向けて取り組む。

古河薬剤師会の情報共有として古河薬剤師会公式オープンチャットを使用し、災害時にもスムーズに情報共有できるようにフェーズフリーのツールとして活用する。

会員連絡担当委員

担当者　金沢知志（アイン薬局古河本町店）

会員への研修会のお知らせ、その他薬剤師会の会員へのお知らせが主な業務。

【担当委員活動】

ホームページ担当委員

担当者　森安大（なのはな薬局）・小泉和之（あおぞら薬局）

更新事項はその都度、更新していく。
ページの不正アクセス等、セキュリティ問題に対応できるようシステム・アプリのバージョンアップを適宜行う。
地域輪番・在宅協力・災害時対応薬局リストの次年度更新（4月更新予定）。
医薬品小分け融通連携（各薬局の在庫薬リスト等）は引き続き

長期連休開局状況確認と情報共有委員

担当者　高橋真吾（薬局ファミーユ）

令和７年度も引き続き開局状況の情報収集と会員や地域に情報共有を行う。

県薬剤師会関連

防災担当委員

担当者　五十畑孝治（イソハタ薬局本町店）

災害に備えた防災対応を、災害対策委員会において検討する。

ベストライフ事業担当委員

担当者　後藤沙矢香（アイン薬局古河駅西店）

茨城県薬剤師会と連携して随時対応し担当を振り分けする。

「薬と健康の週間」事業担当委員

担当者　初澤博文（ハロー薬局）

「薬と健康の週間」は今年度も１０月の関東ド・まんなか祭りと共に開催する予定である。地域活動としては、市民の方々にお薬手帳や在宅などのアンケートをお願いすることで薬剤師業務を広報し、更に薬剤師会の啓蒙活動を行う予定です。

医療保険委員会担当委員

担当者　加藤大貴（あおぞら薬局）

今年度は6月5日に１回、新規個別指導に立ち合い予定。

前年度同様、保険薬局の個別指導の立ち合い及び、他の地域の医療保健委員の先生方が立ち合いを行った報告書を元に、研修会の場を活用し、調剤報酬に関する情報の発信を行う。

実務実習生受け入れ担当委員

担当者　樅山徳幸（オレンジ薬局諸川店）

令和７年度の実習生の受け入れは４名。受け入れ薬局はアイランド薬局境町店（Ⅰ期1名、Ⅱ期1名、Ⅲ期１名）、オレンジ薬局諸川店（Ⅱ期1名）。

昨年度に引き続き、県西在宅クリニックの往診同行実習、あおぞら薬局の在宅実習をお願いする予定。成果報告会は実習生の人数によって筑西薬剤師会・常総薬剤師会・古河地域の病院と合同で開催する。

学校薬剤師部会

部会長　落合佑介（落合薬局）

古河市担当委員

落合佑介（落合薬局）

猿島郡担当委員

森安大（なのはな薬局）

学校薬剤師の推薦を行う。

幼稚園、保育園、認定子供園の要望により薬剤師の紹介も行うが、基本的には学校薬剤師の研修を修了した会員を紹介する。報酬についてもある程度薬剤師会で交渉する。

第 4号議案　　令和7年度収支予算について

令和7年度　収支予算 ~~(案)~~

令和7年4月1日～令和8年3月31日

（単位：円）

収入の部

科　目	前年度決算額	予算額	摘　要
前年度繰越金	**3,259,280**	**3,319,740**	
会費等収入	**1,210,300**	**1,330,000**	
薬剤師会会費 A	1,001,000	1,010,000	A会員(13000円)×66人　B会員(3000)×41人 A会員(10000円)×2人
活動交付金　B	119,300	170,000	地域・職域薬剤師会助成金(基本額50,000円＋会員数99名×700円)
その他収入 C	90,000	150,000	ホームページ掲載料(３件)
事業収入Ⅰ　研修委員会	**18,655**	**50,000**	
研修会等参加費 D	18,655	50,000	
懇親会費収入 E	0	0	
その他収入 F	0	0	
事業収入Ⅱ　地域連携事業委員会	**0**	**50,000**	
研修会等参加費 G	0	50,000	
懇親会費収入 H	0	0	
その他収入 I	0	0	
事業収入Ⅲ　その他事業	**104,000**	**100,000**	
交付金 J	60,000	60,000	薬と健康の週間事業(ド・マンナカ祭り、第３回ふくしまつり)：60,000円
その他収入 K	44,000	40,000	薬剤師資格証:44,000円
その他の収入	**1,179**	**2,000**	
利息 L	1,179	2,000	
寄付 M	0	0	
収入合計	4,593,414	4,851,740	

支出の部

科　目	前年度決算額	予算額	摘　要
委員会活動費	**429,551**	**774,000**	
研修委員会	181,867	127,000	
会議時等運営費 ①	0	5,000	会議場費、備品など
研修会運営費 ①	160,358	100,000	会場費、講師謝礼及び交通費、備品
懇親会費 ①	21,509	20,000	
その他 ①	0	2,000	
地域連携事業委員会	245,684	644,000	
古河モデル事業	18,545	82,000	
運営費 ②	9,405	10,000	会議場費、備品など
研修会運営費 ②	9,140	30,000	会場費、講師謝礼及び交通費、備品など
懇親会費 ②	0	20,000	
学術大会参加費 ②	0	20,000	
その他 ②	0	2,000	
入退院時連携事業	0	29,000	
運営費 ③	0	5,000	会議場費、備品など
研修会運営費 ③	0	20,000	会場費、講師謝礼及び交通費、備品など
懇親会費 ③	0	2,000	
その他 ③	0	2,000	
オレンジカフェ推進事業	0	12,000	
運営費 ④	0	3,000	会議場費、備品など
研修会運営費 ④	0	5,000	会場費、講師謝礼及び交通費、備品など
懇親会費 ④	0	2,000	
その他 ④	0	2,000	
アンチドーピング担当事業	137,586	227,000	
運営費 ⑤	121,306	120,000	会議場費、備品、スポーツフェスタ等イベント費など
研修会運営費 ⑤	0	3,000	会場費、備品など
懇親会費 ⑤	0	2,000	
学術大会参加費 ⑤	16,280	100,000	学術大会発表者＋随伴者１名　日本薬剤師会学術大会
その他 ⑤	0	2,000	
特定検診受診推進事業	29,657	208,000	
会議時等運営費 ⑥	0	3,000	会議場費、備品など
研修会運営費 ⑥	0	3,000	会場費、備品など
学術大会参加費 ⑥	29,657	0	
懇親会費 ⑥	0	2,000	
その他 ⑥	0	200,000	ハルモ費用(４月～１０月：補助月1,500円 10薬局想定)
他団体との交流事業	0	7,000	
会議時等運営費 ⑦	0	3,000	
研修会運営費 ⑦	0	1,000	
懇親会費 ⑦	0	2,000	
その他 ⑦	0	1,000	
夜間休日輪番体制整備事業	59,896	79,000	
運営費 ⑧	59,896	75,000	夜間転送システム費、会議場費など
研修会運営費 ⑧	0	1,000	
懇親会費 ⑧	0	2,000	
その他 ⑧	0	1,000	
災害対策委員会	2,000	3,000	
防災活動費	2,000	2,000	
その他 ⑨	0	1,000	
県薬剤師会関連	**118,410**	**122,000**	
「薬と健康の週間」事業活動費	59,410	60,000	薬と健康の週間事業(ド・マンナカ祭り、第３回ふくしまつり)
医療保健委員会活動費	0	2,000	資料印刷代
実務実習受入委員会活動費	59,000	60,000	
運営業務等支出	**744,370**	**3,955,740**	
役員活動費	282,300	290,000	会長１名・副会長２名・会計１名・理事８名・監事２名　計１４名
会員活動費	0	10,000	
福利厚生費	0	5,000	
慶弔費	0	20,000	
総会時費用	215,920	220,000	総会・案内ハガキ
会議費	87,690	90,000	役員会、理事会
交際費	0	100,000	三師会等
事務用品費	26,642	20,000	名刺代など
印刷費	9,020	10,000	
通信費	95,526	100,000	
ホームページ管理費	19,800	3,000	
支払手数料	1,980	3,000	振込手数料　銀行手数料
活動予備費	5,492	3,084,740	のぼり・前垂れ(50,000円)
支出合計	1,292,331	4,851,740	

事業活動収支差額

科　目	前年度決算額	予算額	摘　要
収入合計	4,593,414	4,851,740	
支出合計	1,292,331	4,851,740	
収支差額	3,301,083	0	

（実績資料）

古河薬剤師会研修会　実施実績

実施年月日	会場	内容
2024年6月13日	古河市総和福祉センター「健康の駅」	ケアマネと薬剤師の連携事業【古河モデル】
2024年7月31日	ZOOM	災害時における薬剤師の活動 能登半島地震の事例から
2024年8月8日	ZOOM	医療DX推進に向けた新たな薬局における取り組みについて
2024年8月29日	古河市総和福祉センター「健康の駅」	感染症の動向および感染対策の実際
2024年10月31日	ZOOM	地域におけるアンチ・ドーピング
2025年1月22日	ヤクルトはなももプラザ	こどもの神経発達症と睡眠
2025年3月4日	ZOOM	地域で取り組む災害時の薬局・薬剤師の対応
2025年3月20日	イーエスはなもも体育館会議室	BCP作成のための講義・みんなで始めるBCP

ベストライフ事業　実施実績

開催年月日	講師	研修会名
2024年6月27日	金沢知志先生（アイン薬局古河本町店）	令和6年度健康講座「教えて薬剤師さん！」
2024年8月23日	山野光一先生（かりん薬局）	令和6年度第一回家族介護教室
2024年9月26日	後藤沙矢香（アイン薬局古河駅西店）	シルバーリハビリ体操指導士の会
2025年1月16日	下地益功先生（境ゆう薬局）	境町公民講座「実年学級女性学級すみれ会」学習会

（主な古河薬剤師会理事対応会議）

入退院時連携　ミーティング　実施実績

実施年月日	時間	備考
2024年7月4日	17:00～	Zoom　Harmo電子お薬手帳
2024年8月15日	20:00～	Zoom　Harmo電子お薬手帳
2024年7月11日	18:00～	古河赤十字病院　2F　会議室　電子お薬手帳
2024年10月8日	16:00～	古河赤十字病院　2F　会議室　西南医療センター　入退院連携

薬薬連携ミーティング　実施実績

実施年月日	時間	備考
2024年6月19日	16:00～	古河赤十字病院　古河薬剤師会三役
2024年9月11日	18:30～	友愛記念病院　門前薬局　会長
2024年9月18日	16:00～	古河赤十字病院　古河薬剤師会三役
2024年12月4日	16:00～	古河赤十字病院　古河薬剤師会三役
2025年2月7日	18:30～	友愛記念病院　疑義照会簡素化プロトコル　門前薬局　会長
2025年2月27日	18:30～	友愛記念病院　門前薬局　会長
2025年3月21日	16:00～	古河赤十字病院　古河薬剤師会三役

電子処方箋導入に係る会議

実施年月日	時間	備考
2024年4月10日	15:00～	古河赤十字病院　2F　古河赤十字病院・友愛記念病院・西南医療センター各院長と事務・システム関係スタッフ　古河薬剤師会

地域連携運営会議

実施年月日	時間	備考
2025年1月17日	14:00～	Zoom　古河赤十字病院　古河市長　古河保健所長　古河消防署長　古河市医師会会長　古河薬剤師会会長他

古河坂東保健医療福祉協議会及び古河坂東地域医療構想調整会議

実施年月日	時間	備考
2025年3月19日	17:00～18:00	古河保健所

地域・職域薬剤師会　会長協議会

実施年月日	時間	備考
2024年7月11日	19:00～21:00	Zoom
2024年10月21日	19:00～21:00	Zoom
2025年2月13日	19:00～21:00	Zoom

令和7年度 古河薬剤師会役員等一覧 ~~(案)~~

役員	会長	田村 美帆	共創未来総和薬局
	副会長	宇田 和夫	下総プリンスクラブ
		岡田 英之	スミレ薬局
	会計	加藤 大貴	あおぞら薬局
	理事	鮎川 金弥	丘里薬局
		五十畑 孝治	イソハタ薬局本町店
		初澤 博文	ハロー薬局
		樅山 徳幸	オレンジ薬局諸川店
		森 安大	なのはな薬局
		高橋 真吾	薬局ファミーユ
		後藤 沙矢香	アイン薬局古河駅西店
		落合 佑介	落合薬局

監事	山野 光一	かりん薬局
	卯木 優香	卯木薬局

委員会	研修委員会	高橋 真吾	薬局ファミーユ
		加藤 大貴	あおぞら薬局
		岡田 英之	スミレ薬局
	地域連携事業委員会	宇田 和夫	下総プリンスクラブ
		樅山 徳幸	オレンジ薬局諸川店
		岡田 英之	スミレ薬局
		田村 美帆	共創未来総和薬局
		後藤 沙矢香	アイン薬局古河駅西店

県薬剤師会関連	総務委員	高橋 真吾	薬局ファミーユ
	医療保険委員	加藤 大貴	あおぞら薬局
	実務実習生受け入れ担当委員	樅山 徳幸	オレンジ薬局諸川店
	学術研修委員	緒方 直美	さくら薬局古河店
	職能対策委員	岡田 英之	スミレ薬局
	茨城県スポーツ協会スポーツ医科学委員	岡田 英之	スミレ薬局
	防災担当者 古河地区	五十畑 孝治	イソハタ薬局本町店
	防災担当者 境地区	高橋 真吾	薬局ファミーユ
	防災担当者 五霞地区	山野 光一	かりん薬局

学校薬剤師部会	部会長	落合 佑介	落合薬局
	古河市担当	落合 佑介	落合薬局
	猿島郡担当	森 安大	なのはな薬局

茨城県薬剤師会代議員	柳本 忠昭	猿島厚生病院
	樅山 徳幸	オレンジ薬局諸川店
	下地 益功	境ゆう薬局
	柿沼 直利	ウエルシア薬局茨城境町店
	大野 浩	アイン薬局古河諸川店

令和７年度 古河薬剤師会推薦者一覧

市町村委員	古河市国民健康保険運営協議会委員	宇田 和夫	下総プリンスクラブ
	古河・坂東保険医療福祉協議会	大堀 久雄	ホワイト薬局
	古河市介護認定審査委員	加藤 大貴	あおぞら薬局
		大堀 久雄	ホワイト薬局
		落合 佑介	落合薬局
	古河・坂東保健医療圏 地域・職域連携推進協議会	五十畑 孝治	イソハタ薬局本町店
	古河市健康づくり推進協議会委員	宇田 和夫	下総プリンスクラブ
	在宅医療・介護連携推進巨言う議会委員	加藤 大貴	あおぞら薬局
	古河市地域ケア会議委員※任期R4～7年	宇田 和夫	下総プリンスクラブ

薬物乱用防止指導員	谷川 慎吾	古河中央薬局友愛前
	野中 琢哉	アイン薬局駒羽根店
	落合 佑介	落合薬局

令和７年度　古河薬剤師会通常総会　議事録

日　時　令和７年５月29日（木）　午後９時00分～

場　所　そば善　茨城県古河市古河527-4

会員数 ~~98~~ 97 名

出席者　89 名（本人出席 ~~15~~ 15 名　議決権行使書提出者 ~~74~~ 74 名）

開会　　定刻に司会者の宇田和夫副会長が、令和７年度　古河薬剤師会通常総会の開会を宣言し、司会者一任にて、議長に野中琢哉会員を指名した。また野中議長一任にて、議事録署名人に、後藤沙也加理事、古谷百恵会員が選出された。

議事　　野中議長より、　古河薬剤師会規約第23条により、会員の２分の１の議決権がある為総会は成立したことが報告され、議事の審議に入った。

令和７年度　古河薬剤師会通常総会

第１号議案　令和６年度事業報告について　田村会長から説明報告があり、意義なく承諾された。

第２号議案　令和６年度収支決算について　加藤会計より説明があり、意義なく承諾された。

第３号議案　令和７年度事業計画について　田村会長より説明があり、意義なく承諾された。

第４号議案　令和７年度収支予算案について　加藤会計より説明があり、意義なく承諾された

閉会　　以上を持て本総会の議案全部の審議及び承認を終了したことを宣言し、野中議長は解任となった。司会宇田和夫副会長が午後７時30分に閉会を宣言した。

令和７年　５月29日

古河薬剤師会

議　　長　　野中琢哉

議事録署名人　　後藤沙也加

議事録署名人　　古谷百恵